

【共通科目】 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 問題 58 (問題 33 頁)

採点上の取扱い

選択肢 4 に加え、選択肢 5 も正答とする。
※本問題の加点は、成績集計・成績表に反映しない。

解説集の訂正

問題 58 解説集 30 頁
誤：正答 4
正：正答 4、5
選択肢 5
誤：誤り。就労継続支援は 18 歳以上の障害者を対象としたサービスであって、18 歳未満の障害児は利用できない。
正：正しい。就労継続支援 B 型は原則として 18 歳以上の障害者を対象としたサービスであるが、児童相談所長が必要と認めた場合は、15 歳以上の障害児に利用を認めることができる。
※問題 58 の選択肢 5 に訂正はない。

【共通科目】 保健医療サービス 問題 70 (問題 43 頁)

採点上の取扱い

すべての選択肢が誤りとなり、問題として不適切なため、全員に加点する。
※本問題の加点は、成績集計・成績表に反映しない。

解説集の訂正と補足

問題 70 解説集 36 頁
選択肢 2
誤：正しい。被用者保険の保険料は、解説 1 のとおり、労使折半で、事業主に保険料の納付義務がある。
正：誤り。被用者保険の保険料については、選択肢 1 の解説のとおり、被保険者本人と事業主とが労使折半し、事業主が納付する。
(補足) 選択肢 2 は「被用者保険の扶養義務者」となっている。扶養義務者である被保険者本人は保険料を支払う必要があるため誤りとなる。なお、被保険者の「扶養者」は保険料を支払う必要はない。

内容を訂正すると共に、皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。今後新たに訂正等が判明した場合は模試専用ホームページ(www.spw-mosi.com)に掲載いたします。

お詫びと訂正

「日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催 2023 年度社会福祉士・精神保健福祉士 全国統一模擬試験」について、以下の誤字・誤植等がありました。お詫びして訂正いたします。

(2023 年 10 月 31 日更新)

<共通科目>

■「現代社会と福祉」	
該当頁	正答・解説集 16 頁
該当箇所	問題 30・選択肢 4
誤	4 (前略) (A・ギデンズ著、佐藤隆光訳『第三の道—効率と公正の (後略)
正	4 (前略) (A・ギデンズ著、佐和隆光訳『第三の道—効率と公正の (後略)
備考	※正答の選択肢に誤りはないため、加点等はいりません。

<精神保健福祉士専門科目>

■「精神保健の課題と支援」	
該当頁	正答・解説集 9 頁
該当箇所	問題 95・選択肢 2
誤	2 (前略), <u>性的虐待</u> (3 万 1448 件, 15.1%), <u>ネグレクト</u> (2247 件, 1.1%) の順となっている。(厚生労働省「令和 3 年度児童相談所での児童虐待相談対応件数」(https://www.mhlw.go.jp/content/001040752.pdf))
正	2 (前略), <u>ネグレクト</u> (3 万 1448 件, 15.1%), <u>性的虐待</u> (2247 件, 1.1%) の順となっている。(こども家庭庁「令和 3 年度児童相談所での児童虐待相談対応件数」(https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/a176de99-390e-4065-a7fb-fe569ab2450c/1cdcbd45/20230401_policies_jidouguyakutai_07.pdf))
備考	※正答の選択肢に誤りはないため、加点等はいりません。

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟